

商店街をもっと見る。もっと知る。

京都商店街新聞

KYOTO SHOPPING DISTRICT PRESS

2026.9 Vol.24

発行：京都府商店街振興組合連合会
〒600-8009 京都市下京区四条通室町東
入面谷鈴町 78（京都経済センター3階）
TEL：075(342)0301 FAX：075(342)0302
URL：https://syouren.or.jp

CONTENTS

インタビュー：北大路商店街振興組合 / 商店街の取り組み / 京都サンガF.C.訪問 /
商店街コラボ創出事業補助金 / 商店街カレッジ・商店街これカラボ / 京都発企業の魅力探訪 / and more...



北大路商店街振興組合
理事 伊藤達さん

北大路商店街振興組合
理事 山本達也さん

人が行き交い、人が集う 京都の「キタ」の商店街

京都府立植物園や鴨川（賀茂川）など、豊かな自然が近い北大路商店街。今号では、京都市北部の交通の要所でもある北大路商店街の伊藤理事と山本理事にお話を伺いました。



昭和49年頃の烏丸車庫の様子
（現在の北大路ターミナル・イオンモール北大路）

アーケードとともに 始まった商店街

地下鉄北大路駅に近く、京都府立植物園や鴨川（賀茂川）にもほど近い北大路商店街。現在は67店舗が加盟し、地域の暮らしを支える商店街として親しまれています。その始まりは大正から昭和にかけての区画整理や都市計画が背景にあったともわれていますが、商店街組織としてはアーケードの設置をきっかけに、昭和48年（1973年）に北大路商店街振興組合が設立されました。その後、路面電車の運行終了に伴う烏丸車庫の廃止、地下鉄北大路駅や北大路ビブレ（現在のイオンモール北大路）の開業など、商店街周辺の環境は大きく変

化。そうした変化のなか、交通の要所として多くの人が利用する場所となっています。2022年には振興組合設立50周年を迎え、地域に根付き歩んできた歴史を感じさせる節目となりました。

地域住民、学生、観光客まで 多様な人が行き交う商店街の変化

商店街の最大の特徴は、JR京都駅から地下鉄で約13分という利便性に加え、北大路ターミナルや地下鉄北大路駅が集まる交通アクセスの良さです。周辺には住宅や大学も多く、地域住民や学生の利用も多いのが特徴。防犯カメラも整備され、安全・安心な環境があることから、学習塾も多く集まっています。

来街者は、地域住民や地下鉄利用者など、幅広い層が商店街を利用しています。かつては食料品や生活関連品を扱う店舗が多かったそうですが、時代の変化とともに不動産や美容、各種スクールなどのサービス業が増え、地域のニーズに合わせて店舗の姿も変化してきました。



私たち
京都外国語大学の学生が
取材しました！

商店街では、こうした利用者の方々向けに、初夏の感謝祭・冬の感謝祭として、毎年2回、プレミアム商品券セールの取り組みを行っています。

インタビューを 終えて

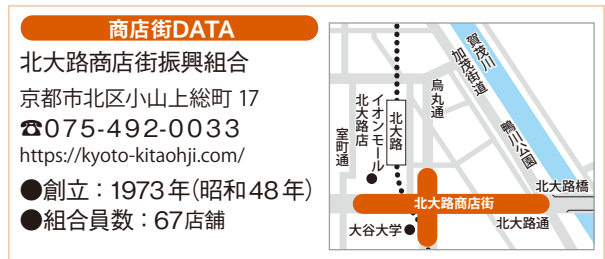
景観を大事にするため、道路沿いに四季折々のお花を商店街の皆さんで育てている取組みが最も印象的で、利用者にとっても気持ちよく過ごしてほしいという思いが伝わってきました。普段何気なく歩いている商店街にも、地域の方々の温かな思いや工夫が詰まっていることも知りました。今回の取材をきっかけに、これからは季節ごとの花にも注目し、地域の方々の細部までのこだわりを感じながら商店街を歩いてみたいと思います。この度はご協力いただきありがとうございました。



伊藤理事もおすすめ！
北大路橋から望む鴨川（賀茂川）の景色。

街中にありながら、
植物園や鴨川の豊かな自然も
身近に感じられる商店街です

心地よい
KYOTOのキタ
花の街・北大路



商店街DATA
北大路商店街振興組合
京都市北区小山上総町 17
☎075-492-0033
https://kyoto-kitaohji.com/
●創立：1973年（昭和48年）
●組合員数：67店舗



年2回の感謝祭

商店街の枠を 超えた独自の活動

北大路商店街振興組合

北大路商店街では、多様な地域特性とポテンシャルの強みを活かしつつ、商店街の枠を超えた地域連携による新しい取組みが行われています。

地域特性を活かした 来街者に向けた取組み

京都府立植物園や鴨川（賀茂川）とのつながりから、北大路商店街では「花の街」をキャッチコピーに掲げており、アーケードのプランターには色とりどりの花が植えられています。年に2回、夏の花と冬の花に植え替え、商店街の組合員が日々の水やりを行うなど、訪れる人が気持ちよく歩ける景観づくりにも取組まれています。まち美化による効果は、来街者に安心感を与えるほか、ボーイ捨て抑止や組合員同士のつながり強化にもなるそうです。



四季折々の花が咲く
アーケードのプランター

地域全体も視野に入れた商店街活動へ

最近では、商店街が抱える課題は周辺地域の課題につながることも多く、商店街も地域の一員として、枠にとらわれない活動や連携が求められることが多いといわれています。

北大路商店街では、「賀茂川周辺活性化プロジェクト」に参加しており、京都府や京都府立植物園、北山街協同組合や周辺地域の方々と定期的に地域の現状や

北大路商店街 まだまだある注目店

一部を紹介！

創業80年を超える老舗楽器店 アメリカヤ楽器店

弦楽器・ピアノを中心とした販売から、調律・修理・音楽教室まで幅広いサービスを展開しています



3歳のお子様から
マンツーマンで受け
られる音楽教室



☎075-441-2341
営業 / 10:00～19:00
定休 / 無休（年末年始を除く）

人が集い、交流が生まれる地域のカフェ けやきCafé

厳選素材を使った手作り料理やスイーツを中心に、音楽ライブ、落語など、多彩な企画イベントも開催



黒毛和牛
ホホ肉のカレー！
ハシバミ
煮込み
ハンバーグ



☎075-451-1178
営業 / 11:30～17:00
定休 / 月曜・火曜

お店のユニークな取組みや工夫をご紹介します

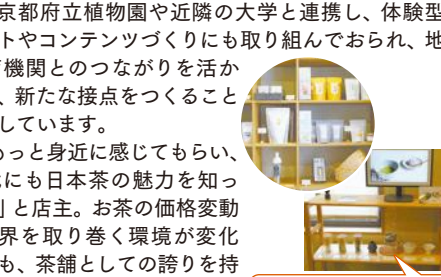
店舗Pick Up! 商店街図鑑⑩ 北大路商店街 振興組合

伝統を守りつつ、新たな需要も生み出す茶舗の工夫

山本園茶舗



1854年（安政6年）創業の山本園茶舗。宇治茶を主軸に、時代の変化やニーズに合わせた商品の開発にも力を入れています。抹茶需要が高まる現在も、宇治茶の品質や味、香りを大切にしながら、より身近に楽しめるお茶のカタチを模索。お茶に馴染みのない人にも手に取ってもらえるよう、スパークリングやカプチーノなど、新たな楽しみ方を提案しています。また、京都府立植物園や近隣の大学と連携し、体験型のイベントやコンテンツづくりにも取り組んでおられ、地域や教育機関とのつながりを活かしながら、新たな接点をつくることも大切にしています。「お茶をもっと身近に感じてもらい、若い世代にも日本茶の魅力を知ってほしい」と店主。お茶の価格変動など、業界を取り巻く環境が変化する中でも、茶舗としての誇りを持ち、日々の暮らしにお茶を取り入れてもらえる方法を模索しています。



お茶の新しい楽しみ方を
提案しています

☎075-493-1812
営業 / 10:00～19:00
定休 / 日曜・祝日

ホームページ
はこちら

本物の味と地域のニーズを両立する中国料理店

森焱軒（もりえんけん）



オープンして2年目を迎える中国料理店「森焱軒」。中国大使館でも勤めていたことのある料理長が、中国の代表的な料理を提供しています。

お店が大切にしているのは、「本物の味」と「日本人に合う味」の両立。切り方や火加減、辛さや味の濃さを細かく調整し、中国料理に馴染みのない人も楽しんでもらえる味を追求されています。また、添加物への配慮や食材の新鮮さにもこだわっています。

接客では、お客さんとの会話や笑顔を大切に、料理をきっかけに交流が生まれる店づくりを心掛け、地元住民、近隣で勤めている方など幅広い層に支持され、リピーターにもつながっているそうです。「若い人にももっと本物の中国料理を食べほしい」とオーナーの王さん。地域の客層に合わせた味やサービス、価格面から店づくりを考え、新たなファンを増やされています。

☎075-334-8266
営業 / 11:00～14:30
17:00～20:00
定休 / なし（年末年始を除く）



学生メモ
イカの炒め物は山椒が
程よく効き、でも辛すぎず
美味しかったです

取材・文＝ 京都外国語大学
加藤万由子（外国語学部 フランス語学科 1回生）
渡邊凜子（外国語学部 フランス語学科 1回生）

